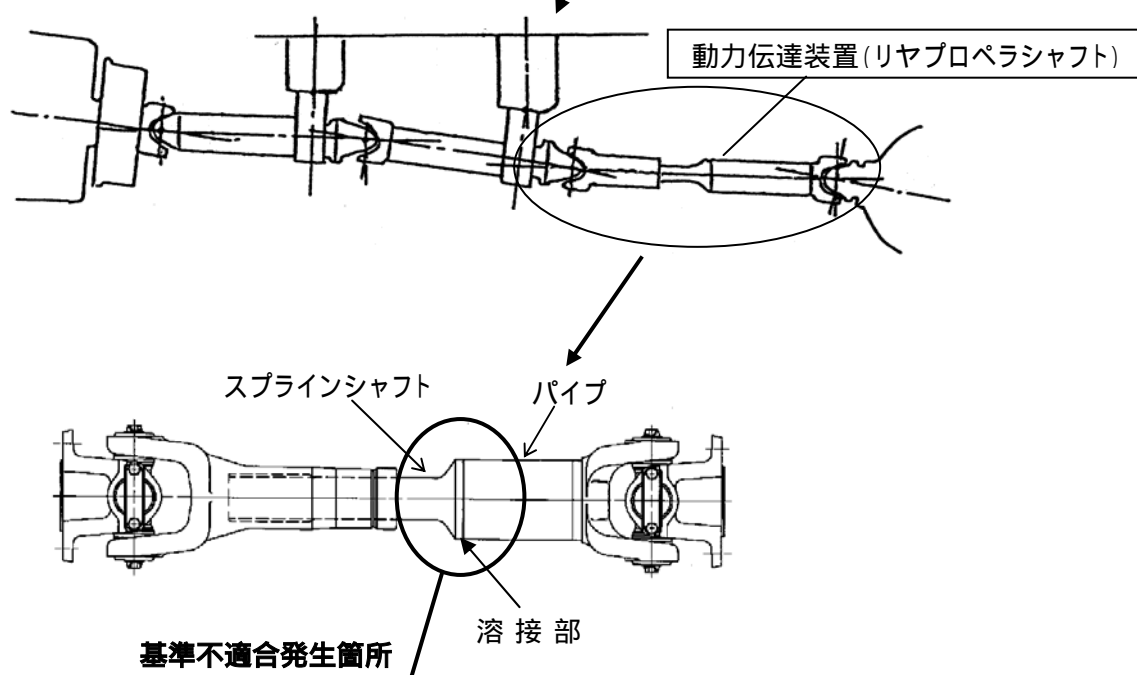
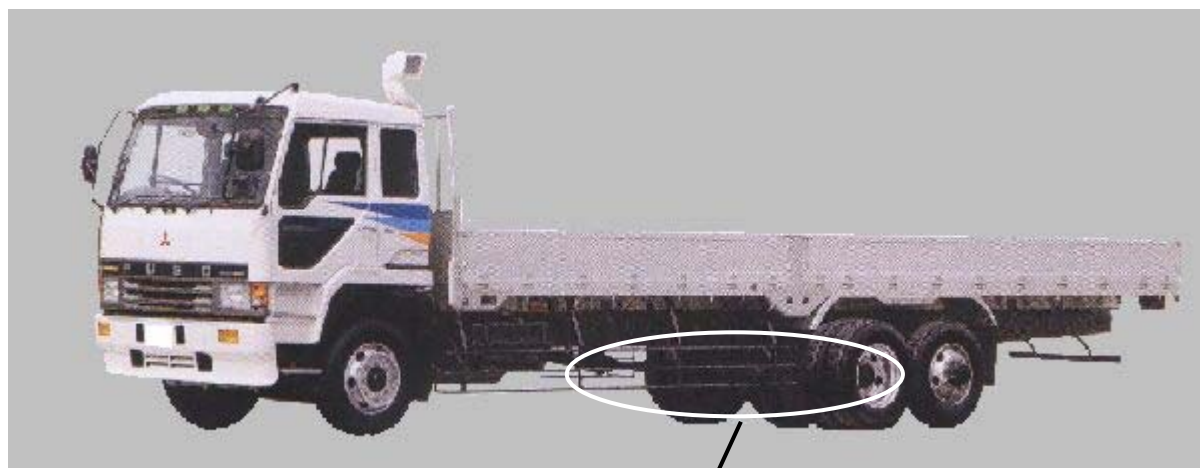


改善箇所説明図



リアプロペラシャフトにおいて、パイプとスプラインシャフトの溶接部の構造が不適切なため、高車速走行時に起こるプロペラシャフトの曲げ共振により溶接部に亀裂が発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、亀裂が進行し、最悪の場合、当該プロペラシャフトが折損、脱落して走行不能となるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、当該プロペラシャフトを対策品と交換する。

改善前

プロペラシャフト寸法

長さ 1650 mm × 外径 90 mm × 内径 82 mm
(板厚 4 mm)

改善後

プロペラシャフト寸法

長さ 1650 mm × 外径 101.6 mm × 内径 93.6 mm
(板厚 4 mm)

注：□ は、交換部品を示します。

識別：作業完了車には、所定の位置に「HD-29」の文字が記載されたシールを貼付ける。

色：白黄色

貼付け場所：キャブ助手席側、ドアのストライカー付近